

まちの考古学者たち

Natural-born stone lovers & Archaeologists in Takayama

2016年 7月2日(土) ~ 9月25日(日)

『高山市史 先史時代から古代編』（本年6月発刊）の成果をもとに、夏季特別展を開催します。

当地方から出土する石器は、江戸時代には既に国内で広く知られており、日本各地の弄石家（ろうせきか趣味で石器を集める人たち）との盛んな交流がありました。明治期には科学の一分野として「考古学」の確立・普及に伴い、高山でも遺物や遺跡の調査が進みました。現代でも、これまで同様に原始や古代の飛騨の様子を解き明かそうと更なる試みが展開しています。

今回の特別展では、いしえの郷土への強い憧れを持った人々の足跡を辿りながら、彼らが遺した貴重な資料と共にその業績を紹介します。

会 場 飛騨高山まちの博物館 2階 特別展示室

開館時間 9:00 ~ 19:00

入館無料 年中無休

主催 高山市教育委員会



ヒスイ大珠
(二木長嘯収集石器類)



三環鈴
(犬塚行蔵蒐集品)



線刻戯画瓦
(光寿庵廃寺出土)

【展示構成】

第 1 部 《江戸時代》 石器を集めた人たち

- 弄石趣味の流行と、学問的な思索の萌芽 -

津野滄洲・森桃林収集奇石類 (県重文) 二木長嘯収集石器類 (国重文)

第 2 部 《明治から昭和》 遺跡・遺物の調査をした人たち

- 近代科学としての「考古学」の導入 -

江馬修菟集品 (国登録) 犬塚行蔵蒐集品 (県重文) 朝戸鶯夢収集考古資料附石器図 (県重文)

第 3 部 《現代》 開発が進む中で活躍した人たち

- 戦後の更なる展開 -

大野政雄 < 村山遺跡・冬頭王塚出土遺物 > 八賀晋 < 石橋廃寺瓦・国分寺瓦 >

考古学フォーラム コーディネーター・田中 彰氏

- 第 1 回 7月24日(日) 13:30~15:30
「飛騨人は石の道具をいかにして作ったか」
講師・吉朝則富氏、岩田修氏
- 第 2 回 8月21日(日) 13:30~15:30
「縄文時代1万年が終わり弥生時代へ」
講師・馬場伸一郎氏、高山市教育委員会職員
- 第 3 回 9月10日(土) 13:30~15:30
「飛騨の匠が作った古代寺院とは」
講師・三好清超氏ほか
- 会場 まちの博物館研修室 予約不要

まち博 夏のわくわく体験教室

まが玉を作ってみよう!

- 第 1 回 7月18日(月・祝日)
第 2 回 8月18日(木)
- 時間 10:00~12:00
会場 まちの博物館研修室

水をつけたやわらかい石を、紙やすりで
けずって作ります。
予約はいりませんので、当日会場へ来て
ください。

博物館案内

入館料：無料
休館日：無休 (臨時休館あり)
開館時間：午前 9 時～午後 7 時 (庭園は午後 9 時迄)
※お車でご来館の場合は市営空町駐車場 (高山市民 2 時間無料) や
近隣の有料駐車場をご利用ください。

飛騨高山まちの博物館 〒506-0844 岐阜県高山市上一之町 75 番地
TEL : 0577-32-1205 ・ FAX : 0577-35-1970 ・ E-mail : machihaku@city.takayama.lg.jp
http://www.city.takayama.lg.jp/machihaku/index.html

